

科目区分	専門分野Ⅱ		科目番号	0704	曜日時間	不定期
授業科目	老年看護学援助論Ⅲ					
単位数	1 単位	時間	1 5 時間	開講時期	2年次前期	授業形態 講義・演習
担当教員						
授業目的	高齢者を全人的にとらえ、根拠に基づき判断し、生活の再構築を支援するプロセスを学ぶ。					
中核	高齢者の生活行動再構築					
授業目標	1. 高齢者を全人的にとらえ、情報を活用し、根拠に基づき判断し、生活の再構築を支援するプロセスを理解する。 2. 老年期の対象を捉え、生活行動に対しての援助方法を実践の中から考察する。 3. 援助の実施・評価を通して、老年看護実践における課題を発見する。					
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考
	8	I. 事例を用いた看護過程の展開 大腿骨頸部骨折術後・誤嚥性肺炎・嚥下障害で入院中の患者への援助 ①事例の展開 ②看護計画・根拠 グループ発表  II. 事例における援助の実施 ①生活活性化への援助 ②経鼻経管栄養チューブ交換の援助  III. 体験を通して学ぶ視点 ①羞恥心への配慮 ②自立と安全の確保における優先順位 ③身体抑制と人権 ④同一体位の苦痛・高齢者の環境整備 ⑤抑制の体験 安全と個人の尊重  IV. 学内演習後に援助計画の再考(個人) ①根拠の明確化  V. まとめ・評価 パフォーマンス課題 成果発表(個人)	講義 調べ学習 (GW/個人) 学内 実習	16		
終了後課題	1. 看護過程に関連する用紙 2. レポート「私が目指す高齢者看護」1200字以上					
評価計画方法	1. パフォーマンス課題・成果発表80%、2. レポート10%、3. 提出物・演習参加態度10% 出席状況(原則全日)が不足している場合は最終評価の減点対象とする					
テキスト 参考図書	堀内 ふき他編集：ナーシング・グラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害，メディカ出版 堀内 ふき他編集：ナーシング・グラフィカ 老年看護学②高齢者看護の実践，メディカ出版					
実務歴有						
講義への反映						
備考	用意するもの 1. 「老年看護学援助論」リフレクションノート 3. 講義毎にハンドアウト資料を配布 2. ポートフォリオ用のファイル1冊 本科目では、学生が「疾患・病態生理」、「検査・治療」を理解しているという前提で講義を実施する。これまでの学習が不十分である場合は、当該講義までに復習を行うこと。					